

2023年10月2日

報道関係者各位

バイク未来総研

バイク未来総研、『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・X-ADV』が今年2度目の首位獲得！

対象期間 2023年6月～2023年8月

バイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に活動を行うバイク未来総研(所在地:東京都世田谷区、運営:Bike Life Lab supported by バイク王)は、2023年6月～2023年8月の期間を対象に、「再び売却した際、高値の付くバイク」＝「“リセール・プライス”の高いバイク」上位10車種を『Bike Life Lab supported by バイク王』に発表いたしました。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。46回目となる今回は、「ホンダ・X-ADV」が首位に輝きました。

◇ 『ホンダ・X-ADV』が首位獲得！



※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「[バイク未来総研調べ](https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/)
(<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/>)」とご明記ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社バイク王&カンパニー 東京都世田谷区若林3丁目15-4
広報PRチーム 担当：佐々木、赤松
TEL:03-6803-8855 E-mail:prior@8190.co.jp

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・X-ADV	95.0 Pt
2	カワサキ・Z900RS	93.4 Pt
3	ホンダ・リード 125	90.8 Pt
4	ヤマハ・XSR900	90.5 Pt
5	ヤマハ・MT-09 SP ABS	88.8 Pt
6	ホンダ・ADV160	87.4 Pt
7	ホンダ・CRF1100L Africa Twin	84.5 Pt
8	ホンダ・CRF250L	83.5 Pt
9	ホンダ・CBR600RR	82.9 Pt
10	カワサキ・Z650RS	81.9 Pt

◇対象期間 2023年6月～2023年8月

46回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・X-ADV』が首位に輝きました。

ホンダ・X-ADVは2017年に初登場したアドベンチャータイプのバイクで、オートマチック機構のデュアル・クラッチ・トランスミッション（DCT）を採用したNC750X系のエンジンを搭載しています。

足回りにはスポークホイールや倒立フォークを採用するなど唯一無二の外観から従来のビッグスクーターの概念を覆し、大きな注目を集めたバイクです。

2021年にはフルモデルチェンジが行われ、ユーロ5の排気ガス規制に適合するとともにフレームから新設計が行われるとともに様々な新機能が搭載されました。

スロットルバイワイヤ等の電子制御システムの導入とあわせ、「Honda スマートフォン・ボイスコントロール・システム」は、バイクをスマートフォンとBluetoothで接続してハンドルから手を離さずにナビゲーション・電話・音楽などのアプリケーション操作が可能のため、運転操作を妨げること無く音声で操作を可能とします。

この他にも日本のバイクブランドで初めてデイトタイムランニングライト機能を搭載するなど最先端技術が数多く採用されています。

市街地・高速道路・未舗装路などの場面を選ばず安定して快適に走ることができることからキャンプツーリングとの相性も良く、近年大きな注目を集めているバイクです。

ホンダ・X-ADVは第44回のリセールプライスランキング以来2023年度で2回目の首位獲得となっています。

また、今回の軽二輪ランキングの1位ではホンダ・ADV160が1位を獲得しており、アドベンチャースクーターに人気が集まっている傾向が伺えます。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・リード 125	90.8 Pt
2	ホンダ・モンキー125	81.8 Pt
3	ホンダ・ダックス 125	81.3 Pt
4	ヤマハ・シグナス グリファス	75.6 Pt
5	ホンダ・DIO110	74.6 Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・ADV160	87.4 Pt
2	ホンダ・CRF250L	83.5 Pt
3	ホンダ・レブル 250	74.1 Pt
4	ヤマハ・XMAX ABS	71.5 Pt
5	ホンダ・CRF250 RALLY	70.7 Pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・GB350	81.3 Pt
2	ホンダ・GB350 S	78.3 Pt
3	ホンダ・400X	75.7 Pt
4	ホンダ・CBR400R	69.1 Pt
5	カワサキ・Z400	62.8 Pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・X-ADV	95.0 Pt
2	カワサキ・Z900RS	93.4 Pt
3	ヤマハ・XSR900 ABS	90.5 Pt
4	ヤマハ・MT-09 SP ABS	88.8 Pt
5	ホンダ・CRF1100L Africa Twin	84.5 Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2023年10月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、200万台以上の累計取扱台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Labが独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2023年10月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2023年10月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、Bike Life Lab独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

【バイク未来総研 について】

2022年3月にバイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に発足しました。

国内外のレースで輝かしい成績を挙げ現在はモータージャーナリストのほか多方面で活躍する宮城光氏を所長に迎え、バイクライフの楽しさやバイク王が持つバイクに関する独自データ分析などの情報発信に加え、ライダーやバイク業界がこれから描く「未来」に切り込んだコンテンツを順次発信します。



■ バイク未来総研所長 宮城光のココがポイント

ホンダ・X-ADVの2度目の首位獲得には、ソロツーリングの延長上に有るソロキャンプへのシフト感をビジュアルに於いても最も具現化しているところも大きな要因だろう。さらには十分な排気量に加えてDCTの採用は、大柄に見えるアドベンチャースクーターで、走る場所も選ばぬ走破性が大きな魅力だ。

4輪車のSUVブームも合わせ言える事だが、いつでも事を起こせる…つまり、趣味性だけでは無く本当の意味での実用性も兼ね備えている辺りが、現代のニーズとも言えるのだろう。

同じく好調なのはカワサキ・Z900RSだが、STDの仕上がりの良さは、販売価格に見合った納得の1台で、カスタムベースとしても、基本デザインの完成度の高さから安心して購入出来る1台と言える。他、ヤマハ・XSR900やMT-09SPは作り手の想いが伝わる仕上がりで、エンジンフィーリングも含め、こちらもソロツーリングで良き相棒と成り得る魅力有るマシン。上位のマシンは、其々にキャラが立っており、納得のセール・プライス・ランキングと言えるだろう。

